

| | | | |
|----------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 2 | 1 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 兼田 定明 | | | |
| 月1、月3、木1 | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | |
|---------------------------|--|
| 科目の概要 | この科目では、初等教育における図画工作、および幼児の造形活動の指導のための実践力を養うことを目指す。授業では、実際の絵画・立体制作への取り組みを通して、児童・幼児のための造形教育の指導について体験的に学んでいく。 |
| 授業の内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 技法研究①「オイルパステルによる色彩構成とスクラッチ（準備）」 ・次回授業までにスクラッチ制作のアイデア・スケッチを完成させておくこと 2. 技法研究②「スクラッチ（描画）」 3. 技法研究③「スクラッチ（描画・仕上げ）」 4. 技法研究④「虹を描く」 ・文献・インターネット等で虹の色彩について情報収集しておくこと。 ・次回授業までに「虹色の絵」のアイデア・スケッチを完成させておくこと。 5. 技法研究⑤「虹色の絵」 6. 技法研究⑥「紙を染める」 ・文献・インターネット等で絞り染め・折り染めについて情報収集しておくこと。 7. 技法研究⑦「ちぎり絵」 8. 絵画の題材研究「大きな生き物と小さい生き物」 ・これまで自身が取り組んだ絵の題材について思い出し、書き出しておくこと。 9. 版画研究①「紙版画（版作り）」 ・文献・インターネット等で版画について情報収集しておくこと。 ・次回授業までに紙版画の版を完成させておくこと。 10. 版画研究②「紙版画（刷り）」 11. 版画研究③「版の活用（アップ・サイクル）」 12. 版画研究④「一版多色刷り版画（版作り）」 13. 版画研究⑤「一版多色刷り版画（刷り・仕上げ）」 14. 立体造形①「土面（成形）」 15. 立体造形②「土面（整形）」 |
| 学習到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・造形の技法について学び、造形教育の題材理解を深める。 ・子どもの発達に則した、造形教育の題材開発ができるようになることを目指す。 ・創造性を育む造形教育のあり方についての、より高度な理解に到達する。 |
| 授業の方法 | 実技 制作物等の提出課題については、適宜講評を実施する。 |
| 成績評価の方法 | 提出作品70%、授業への取り組み（準備、後片づけなども含む）30% |
| 教科書・テキスト | 特になし |
| 参考書 | V. ローウェンフェルド、『美術による人間形成』、黎明書房 G. H. リュケ、『子どもの絵』、金子書房 ローダ・ケロッグ、『児童画の発達過程—なぐり描きからピクチュアへ』、黎明書房 |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | より高い学修目標達成のため、授業時間外を利用して制作を行うこと。※提出期限はその題材の授業での取組み終了後1週間とする。 日頃から積極的に美術作品にふれ、身の回りの物の色や形に注意を払うよう心がけること。それにより、美術に関する造詣を深め、知識の幅を広げるよう努めること。 |
| 履修上の留意事項 | 止むを得ず欠席した場合は、授業内容を確認し、提出物等があれば、必ず完成させて指定の期限までに提出すること。（原則、翌週の授業開始時を提出期限とする） |

| | |
|------------|---|
| オフィスアワー | 金曜日 12時10分～13時 質問や相談がある場合は、授業終了後にその旨を申し出ても良い。別途時間を設けて対応する。 |
| 担当教員への連絡方法 | s-takada@osaka-aoyama.ac.jp |
| その他 | 特になし |